



A



A



A



B



B



B



C



C



D



D

交流事業 ▶

みんなの応援が選手の力になる！

市民やファンが山陽オートレース場に来て練習を見学したり、選手が学校に行って講演をしたりして交流しています。真剣に競技と向き合う選手たちの姿は、観る人に勇気や感動を与えます。

世界で活躍する選手たちとの交流を通して、今後も障がい者や障がい者スポーツへの理解を促し、“心のバリアフリー”を進めます。

【今年度の交流事業】

▶特別見学会：4月6日

山陽オートレース場で開催。練習の走路内見学や、選手への質問コーナー、サイン会などを行って、選手とファンが交流しました。

▶人権教育講演会：11月28日

植生小学校に権丈泰巳監督、川本翔大選手、藤井美穂選手が来校。3～6年生および地域のみなさんが権丈監督・選手から競技に対する思いを聞きました。

▶タンデム自転車体験試乗会：11月30日

サビエル高等学校の生徒が山陽オートレース場を訪れ、タンデム自転車の体験試乗を行いました。

▶スポーツ少年団駅伝大会：12月1日

県立おのだサッカー交流公園で行われたスポーツ少年団駅伝大会に権丈監督と選手が駆けつけ、子どもたちを応援しました。

タンデム自転車体験試乗会

昨年、市ではパラサイクリングを盛り上げようと、山陽オートレース場、江汐公園（写真）などを会場にして、「タンデム自転車体験試乗会」を開催しました。タンデム自転車とは、座席とハンドルが2つ並んでいる2人乗り用の自転車。後ろの座席の人は、ハンドル操作の必要がなく、脚力に自信のない人や視覚障がいのある人でも自転車走行を楽しむことができます。参加者は、バランスを取ることに苦戦しながらも、2人で走る一体感と疾走感を楽しんでいました。

